

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
1	〔廉塾周辺図〕		40.7×68.0	1枚	紙本墨書, 朱書あり, 茶山の時代。 文政8年頃, 作成か。 測量の控と思われる, 東池が描かれ, 養魚池がないことから, 文政8年以前の姿
2	〔廉塾周辺図〕		45.5×77.3	1枚	紙本墨書, 朱書あり, 絵図・地図類1より簡略
3	〔廉塾周辺図〕		46.7×24.2	1枚	紙本墨書, 山陽道より南側
4	素読所附田畑絵図面	文政八年	28.2×20.4	1冊	紙本墨書, 共紙表紙, 外題直書「文政八年西三月 素読所附田畑絵図面」, 朱字書込あり。 文政八年段階の塾田の位置図及び筆事の面積や取れ高, 作人等を記述する。
5	〔御買入絵図面(塾田)〕		25.2×455.7	1枚	紙本墨書, 楮紙, 朱書あり, 首題・扉題「文化十二年御買入絵図面 安那郡湯野村」, 文化五年・十二年購入塾田の絵図面
6	湯野村中田検地図		24.7×35.2	1枚	紙本墨書, 首題・扉題「湯野村中田検地図」, 茶山の筆跡か
7	備後国福山御城下絵図	天明二年	92.8×109.8	1鋪	紙本墨書, 表紙墨書「百五十六番」「黄葉夕陽村舎」, 裏表紙墨書「天明二壬寅年二月」, 北上, 方位記入
8	〔備後府中地図〕		44.3×29.5	1枚	紙本著色, 端書「朱八道筋藍ハ水筋――ハ者ノ大河筋也, 此大川筋ハ, 某大■(既+ホ)ヲ想像シテシル耳或ハコレヲクワシクセントナラバ府川高木中須等古川ノ地名ヲトゴトク挙テ詳ニ其所在ヲ推ストキハ昔ノ大川ノ流大半知ラルベシ今此圖ニ古川ノ地ヲシルス只知レル所ノ一端ヲ挙ル而已」, 「二十七番」, 府中の平面図, 古河床推定位置を―――で記す
9	〔芦田川御調郡流域絵図〕		34.0×109.6	1鋪	紙本著色, 茶山直筆, 端裏「百六十九番」, 芦田川と御調川の合流点以北の流域(父石村・篠根村・下河面村など), 山, 水面, 道筋に着彩
10	備後奥川筋図		51.2×70.7	1枚	紙本著色, 端書「備後奥川筋図 菅太中茂」, 「三十一番」, 神石郡の川沿いにある村や橋, 渡を書き込む地図, 薄茶彩色が川筋と東西南北の文字に有り, 橋に朱あり
11	恵蘇郡比和村之図	文化十年	31.1×43.5	1枚	紙本墨書, 端書「文化十癸酉年改恵蘇郡比和村之図 社人撰津控」, 「十九番」

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
12	備後国絵図		31.0×280.0	1鋪	紙本著色, 茶山墨書「菅大中蔵 大小二本 今按二古拾万石之地あらハ備中郡村あるべし今図二見へす」, 墨書「備後国絵図 古拾万石絵図共二」, 袋附属(38. 3×25. 1), 袋墨書「壹番」
13	〔備中・備後・安芸国里程図〕		30.8×49.8	1枚	紙本著色, 端裏書「三十四番」, 折帖, 表面に里程, 裏面に運賃を記す
14	〔石見国西端部里程図〕		33.8×45.9	1枚	紙本墨書, 端書「十五番」, 里程朱書, 益田以西の地域の図
15	広島より両国諸処へ之路筋〔図〕		82.8×79.4	1枚	紙本墨書, 端書「広島より両国諸所へ之路筋」, 「菅大中蔵」, 「十六番」, 里程は朱書
16	備芸西国浦津島嶼図	文化戊辰(五年)九月十二日写	64.3×55.2	1鋪	紙本淡彩, 題簽「備芸西国浦津島嶼図 廉塾蔵書之一」, 「七番」, 墨書「文化戊辰九月十二日讃岐三〇昌念〇菅太中蔵」, 備後・備中の境から安芸周防まで讃岐伊代の海岸線地名のみ, 海路も示す, 島はかなり細かい, 福山城, 松山城を描く
17	〔いわし島略図〕		24.4×33.3	1枚	紙本著色, (図中書込)「いわし嶋」, 「十八番」, 山の部分に「アサキ」の著色指定あり
18	〔服部大池の図〕		69.0×137.2	1鋪	紙本淡彩, 端裏「三十五番」, 山・川・村名墨書貼紙
19	岡山学校〔略図〕		32.7×24.5	1枚	紙本墨書, 端書「委敷キ図八追而上げ可申候, あ〇〇入用ノ所はかり如此」, 「百三十一番」
20	〔備後吉備津神社境内図〕		91.3×157.5	1鋪	朱書あり
21	改正江戸絵図	天明五年毎月改正刊	87.5×89.9	1帖	木版墨刷(手彩色), 題箋「改正江戸絵図」, 表紙墨書「十番」, 裏 茶山筆「金粟園程成修験」, 隅田川以東追加あり, 薄茶表紙, 「天明五年毎月改正 江戸芝神明前 奥村喜兵衛板」
22	懷宝御江戸絵図	享和三癸亥年刊	77.8×89.4	1鋪	木版淡彩, 題簽「懷宝御江戸絵図」, 表紙墨書「十一番」, 刊記「享和三癸亥年毎月ノ江戸日本橋南一町目須原屋茂兵衛版」, 「一分廿間の積り」, 表紙紺紙, 大名屋敷名, 家紋入り

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
23	分間懷宝御江戸絵図	文化十一年刊	79.8×89.5	1鋪	木版墨刷, 題簽「分間懷宝御江戸絵図」, 表紙墨書「百六十五番」, 刊記「文化十一甲戌年毎月／江戸日本橋南一丁目須原屋茂兵衛版」, 「一分廿間」方位有り, 屋敷名, 家紋入り
24	湯島聖堂平面図		39.0×51.8	1枚	紙本著色, 端書「七十五番」, 湯島聖堂の手書き平面図彩色, 堂舎ほかを色で描き分ける
25	〔鎌倉神社仏閣絵図〕		63.2×45.8	1鋪	木版墨刷, 表紙なし, 朱書あり, 鳥居, 社等に手彩色朱, 端裏に墨書「式百廿一番」, 刊記等なし
26	修学院離宮図		28.3×153.0	1巻	紙本著色, 表書「修学院離宮図 菅太中蔵」, 朱「三十七」, 庭建物配置, 各建物間取
27	〔吉野略図〕		23.4×33.0	1枚	紙本墨書, 文化十年「ひたちみちの記」作成時の茶山作図力
28	大和巡方角絵図	天明二壬寅仲春刊	48.5×59.2	1鋪	木版墨刷, 外題「大和巡方角絵図」, 朱書・墨書「十二番」朱書・墨書附紙あり, 茶山大和行時に携帯か, 斜め社つなぎ木版摺青灰色, 内題「大和めぐり道法絵図」, 刊記「天明二壬寅仲春 和州八尾新町 本屋清蔵 京都六角通御幸町 小川多左衛門ほか」, 茶山自筆朱筆にて道筋と地名を加える
29	近江国大絵図	寛保二壬戌年九月吉日刊	85.6×137.0	1鋪	木版墨刷, 題簽「近江国大絵図 全」, 内題「近江国細見図」, 墨刷「近江国細見図 寛保二壬戌年九月吉日 作者河州散人山下重政／校合浪花山下重政／校合摂陽森孟忠／浪花書林心斎橋筋安堂寺町村上伊兵衛／順慶町五丁目大津屋嘉兵衛」, 大津よりの各里程, 領主御大名附, 名所旧跡, 名物土産, 表紙紺紙
30	懷玉三河州地理図鑿		112.0×112.0	1鋪	木版墨刷, 題簽「懷玉三河州地理図鑿」, 墨刷「三州八郡地理之図 巖谿散人題」, 表紙墨書「參州岡崎昌光律寺万空上人所恵菅太中蔵」 裏表紙墨書「菅太中蔵 六番」, 薄茶表紙, 朱点, 一分道筋に朱あり, 刊記なし, 墨書「巖谿散人題」
31	〔小刀図・肥前国五嶋之図〕		25.6×37.0	1枚	紙本墨書, 端書「百五十二番」, (右)八幡神社奉納の小刀図, 各部分名称記入, (左)五島列島地図, 地名・方位を記入
32	肥前長崎図	安永七戊戌八月刊	66.6×88.7	1鋪	木版淡彩, 題簽「肥前長崎図」, 刊記「安永七戊戌八月／長崎勝山町大畠文次右衛門板」, 表紙墨書「五番」, 水面は青灰色刷, 渋紙表紙
33	対馬島図		33.5×24.0	1枚	紙本墨書, 端書「古屋帯刀様御用人波多野源蔵対中図」, 「百三十番」

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
34	対馬図(府中巖原略図)		28.3×40.5	1枚	紙本墨書, 端書「対馬図」, 図中朱字書き込みあり, 「十四番」
35	九州全図		57.7×82.0	1鋪	木版着色, 墨書「九州全図 黄葉夕陽村舎 百五十五番」, 黄色表紙, コンパス表記有り, 対馬別紙貼り込み(地名等詳細)
35	〔福山藩領絵図〕		78.9×54.10	1鋪	紙本淡彩, 福山志料掲載図の下図か
36	〔福山藩領絵図〕		84.7×61.9	1鋪	紙本淡彩
36	津軽学校惣構図		68.8×57.3	1鋪	紙本墨書
37	緑猗園周辺景観図		136.1×161.0	1鋪	紙本著色, 緑猗園「此君亭」とある, 東の方向「口吾城」を記す, 茶山「黄葉夕陽村舎詩」に記載あり
38	増修定本改正日本輿地路程全図	寛政三年辛亥春正月刊	84.5×132.0	1鋪	木版色刷, 題簽「改正日本輿地路程全図増修定本」, 墨刷「新刻日本輿地路程全図序安永乙未口月阿波国儒者讃岐柴邦彦撰 東都榊原隠士考証」, 墨書「備後神辺廉塾 三番」, 薄緑表紙(厚紙)鞠模様入, 方位表示有り, 一度単位の経緯度線入り, 琉球なし, 松前と朝鮮は先端部分のみ, 海路入り, 刊記「寛政三年辛亥春正月」, 版元「京師畑九兵衛 三(金例のせん)字, 浪華浅野弥兵衛発行」, 序文「安永乙未口月 阿波国儒者讃岐柴邦彦撰」, 木版, 手彩色
39	赤人所図日本・蝦夷之図		28.0×40.0	1枚	紙本墨書, 端書「赤人所図日本・蝦夷之図 江府 聖堂中之士摸得此図所貽早川某云々」, 「三十三番」, オホーツク海, 日本海沿岸の地図, 聖堂中之士の作で早川某が所持とあり
39	〔長門国豊浦郡安岡村絵図〕		39.0×53.7	1枚	紙本著色
40	松前えそ図		96.0×104.5	1鋪	紙本著色, 墨書「菅大中蔵」此図もと鯨取又左衛門へ公像より被下候, 又左衛門えそへ鯨取に参候節之事云々
41	松前えそ図		99.4×101.1	1鋪	紙本著色, 40号の写しか

指定番号	資料名	時代・時期	寸法	員数	内容
42	唐土歴代州郡沿革地図	寛政元年序	36.0×643.6	1帖	紙本墨書, 原序「乾隆五十四年榴月下浣古杭沈口繪拜手」, 序「寛政元年己酉春三月水戸立原万書」, 「剖口江川美啓」, 見返朱書「也」, 第一「大清国道程図」, 第二「禹貢九州図」, 第三「周職方氏図」, 第四「春秋列国図」, 第五「戦国七雄地図」, 第六「秦三十六郡并越四郡」, 第七「西漢州郡図」, 第八「東漢郡国図」, 第九「三国鼎峙図」, 第十「両晋南北朝州郡図」, 第十一「唐十道図」, 第十二「大明一統二京十三省図」, 第十三「亜細亜小東洋図」, 「曲尺一寸準三百里許 百里曲尺三分余」, 全図北上, 第二・四・六・十一方位未記入, 箱(38.4×23.4×4.0)入, 蓋書「唐土歴代州郡沿革地図 神辺駅学問所」, 墨書包紙(箱に貼付)「唐土歴代州郡沿革地図 黄葉夕陽郵舎」貼付
43	地球輿地全図	文化七年	144.5×143.3	1鋪	題箋「地球輿地全図 亜細亜地亜墨利加境」, 裏面墨書「岡田先生所蔵」, 袋(35.7×25.4)附属, 「(印「印文未詳」)」詠歸齋主人校修 文化庚午秋新鑄 温其軒蔵板(印「靈蘭」)(黒印)」, 樺太を二島に描き, 欄外に1島説も図示す, 経緯度5度単位, 福島基準の135度から240+, 赤道以北
44	新訂万国全図		115.4×196.4	1鋪	紙本銅版, 黒文方印「神辺駅廉塾記」1顆あり, 木箱付属(51.8×31.7×3.3), 蓋上書「新訂万国全図」